

「いのちを与えるお方」

～生き方を変えさせる神の介入～

「私はあなたのことを今まで頭で知っていました。しかし、今は、はっきりあなたがわかりました。それで、私は自分の罪を知り、悔い改めます。」 ヨブ記42章5・6節 [現代訳]

私たちは様々な方法を通して、神様が私たちの人生に介入されていることを知ります。しかし、神を知り、祈ることを知っている人と、そうでない人とは、その受け止め方に大きな違いがあります。

日野原先生は、人生半ばにして、日航機のハイジャック事件に巻き込まれるという突然の出来事の中で大きな人生の転機を迎えます。それまでもキリスト者として生きて来られたお方でしたが、その時、初めて、この人生は神から与えられた特別なものであることを知り、以後、自分のためにではなく、与えられた命として、人々のために尽くすということを決断させられました。恐らく、飛行機に閉じ込められている間、先生は神に祈りを捧げ続けたのだと思います。小学校の時に覚えた御言葉がありました。以降それを実践するようになりました。

「いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。」

第一コリント13章13節 [新改訳]

星野富弘さんは、体力もあり、運動神経も抜群で体育の教師としてバリバリ働いていましたが、空中転回の模範演技をした際に、着地に失敗し、瞬間的に全く別人にされてしまいました。そして、来る日も来る日も自分自身の人生を呪い続けました。彼はキリスト者ではなかったので、かなりの時間悩み苦しみました。どこにこの苦しみを訴えたらよいのか分かりませんでした。そんなとき聖書の御言葉に出会い、自分の人生への見方が変わります。

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたを休ませてあげます。」 マタイ11章28節 [新改訳]

ソロモンは言いました。

「あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。悪しき日がきたり、年が寄って、『わたしにはなんの楽しみもない』と言うようにならない前に。」 伝道の書12章1節

誰もが行き詰まります。誰もが苦しみに遭います。また、誰もが死を迎えます。その時にすぐそばにあなたが祈ることができる、あなたを永遠に救うことができるお方を有しているならば、あなたは幸いです。

死刑に処せられた強盗が心を入れ替えて隣にいたイエス様にお願いしました。

「イエス様、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、私を思い出してください。」 イエス様は「あなたは今日、私と共にパラダイスにいます！」とお答えになりました。

あなたの人生にも神様が介入されます。主イエス様に祈りましょう！